

## ブラジルの歴史

ブラジルは新大陸に位置するため、旧大陸の諸国と異り、その歴史は発見にはじまる。しかし、発見以前にすでに原住民が住んでいたことは事実であり、順序として、まずそのことから述べる。

### 1. 原住民

コロンブスがアメリカの一角、今の西インド諸島のサン・サルヴァドル島に着いたのは1492年10月12日で、これがアメリカ大陸発見の日とされているが、コロンブスはその間に原住民が多数住んでいるのに出会った。彼は当時、西廻りの航海でインドに着いたものと思い、これをインディオ（インディアン＝インド人）と名づけた。

アメリカ大陸の原住民の起源については昔から種々の説がある。例えば南米の原住民について少なくとも2つの説がある。1つはブラジルのミナス・ジェライス州のラゴア・サンタ（Lagoa Santa）鐘乳洞で多くの哺乳類の化石と共に発見された人骨により、デンマークの博物学者、ルンド（Peter Wilhem Lund）が唱えたラゴア・サンタ原人説で、もう1つはアルゼンチンのラプラタ河畔より発見された人骨により、アルゼンチンの人類学者アメヒノ（Florentino Ameghino）が唱えたラプラタ原人説である。そのほか、オーストラリアの原住民が南極を経て入った説、ポリネシア人が南米の西岸に入った説などがあるが、今日最も有力で広く用いられているのは蒙古人種とする説である。

アジアとアメリカを分つベーリング海峡は現在、幅が80キロメートルばかりあり、その中間に2つの島をもっている。

地球は今から1万年前までは複雑な気温の変動を受け、暖期と寒期を生じた。寒期には氷河期と呼ばれる時代の氷の量が非常に増加し、ある時期には海水面は現在の水位から100mもさがっていた。ベーリング海峡は深さ50m前後であるから、この時期には徒歩で渡ることができたといわれる。アジアの東北部に住むモンゴロイド系の人々はこうした苛酷な環境に生きぬく生活様式を身につけていたので、中には獲物を追いながら、いつしかこの海峡を渡り、アメリカの地に移動して行った。それが今からほぼ3万5000年前にはじまったといわれる。

アメリカに渡った彼等は途中で横たわる種々の障害を克服して各地に分散し、今から9000年前には南端のパタゴニアにも住むようになった。またアメリカのインディオには幼時に蒙古斑が多くあらわれることや蒙古ひだがあることで、大半がモンゴロイド系であるのは今日定説となっている。

ブラジルのインディオについては種々の研究があるが、1884年ドイツの人類学者で広くブラジルを歩いたスタイン（Karl von den Steinen）の発表した分類が今日でも基礎となっている。彼はブラジルのインディオを大別して4つの種族に分けている。すなわち

1. ツピー・ゲラニー族(Tupi-Guarani)。

ボリヴィア、パラグアイ、アルゼンチン、ウルグアイ、ペルー、エクアドル、仏領ギアナとブラジルに分布する。ブラジルでは大西洋沿岸の全域とアマゾン川の流域その他。

2. ジェー(Jê)またはタプイア族(Tapuia)。

ブラジル中央高原および南部地方。

3. ヌアルアケ(Nuaruaque)またはナイプレ族(Naipure)

西インド諸島、ヴェネズエラ、ボリヴィア、パラグアイ、アンデス山脈の一部。ブラジル